

みよし 議会だより



目次

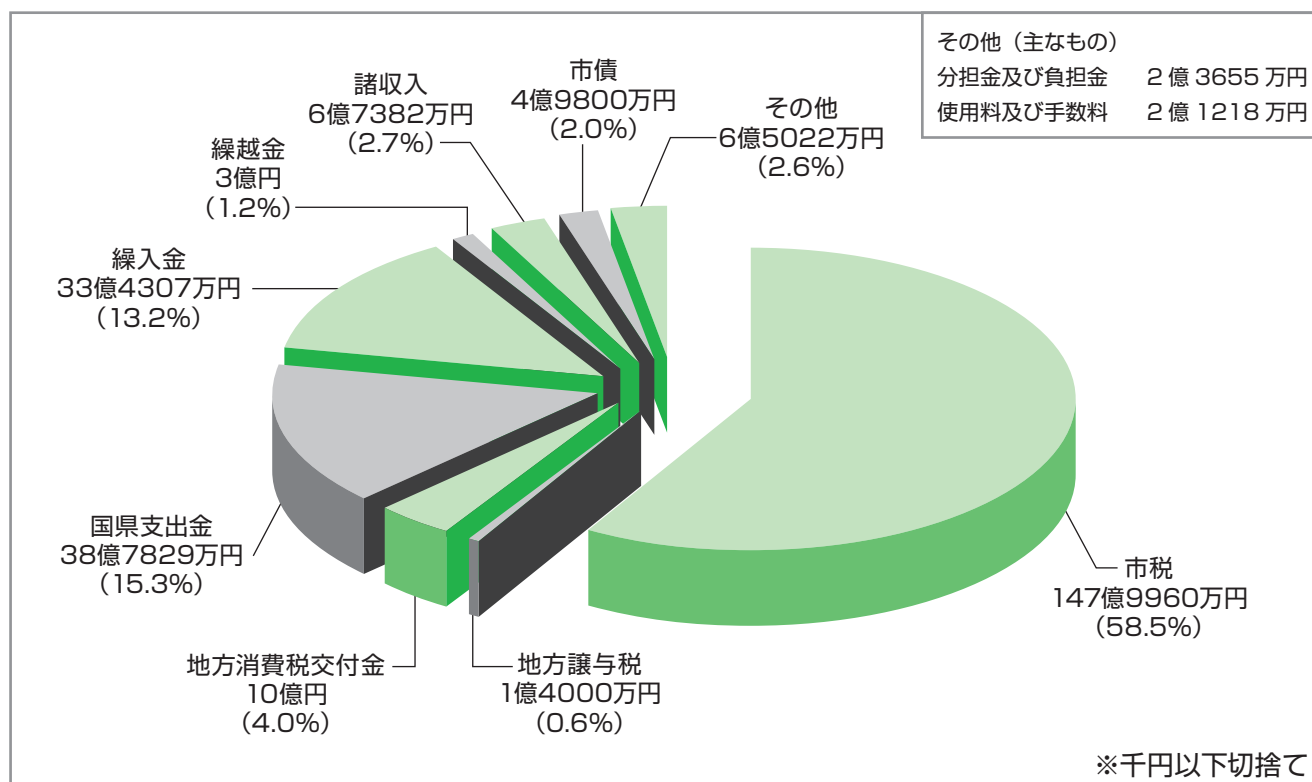
27年度当初予算	P2～P3
27年度事業あれこれ	P4～P5
27年3月議会報告	P6～P7
常任委員会Q&A	P7～P8
13人が市政を問う(3月議会一般質問)	P9～P15
行政調査報告会	P15
特集 地区防犯パトロール隊紹介(三好丘緑行政区)	P16



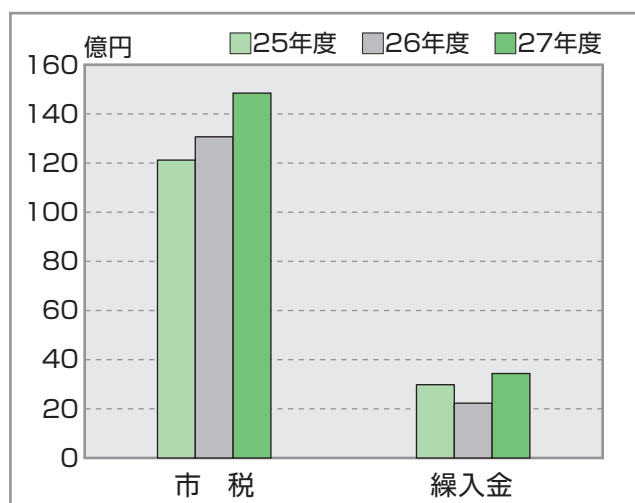
予算が決定!

252億8300万円

歳入 (内訳及び構成比)

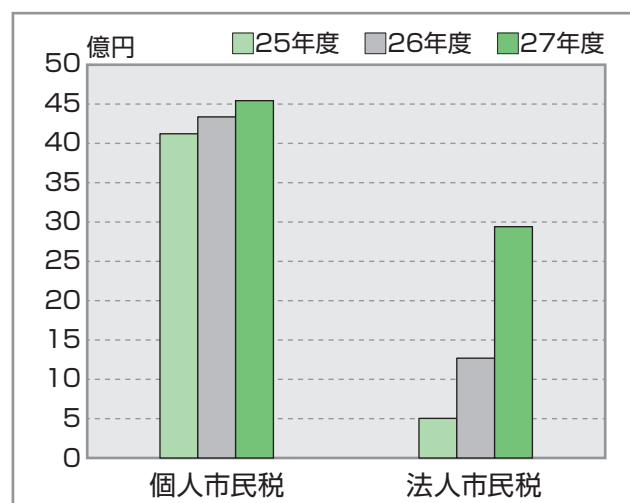


歳入比較



- ◇市税は147億9960万円で、26年度と比べ17億7220万円の増額です。
- ◇繰入金は33億4307万円で、26年度と比べ11億7331万円の増額です。

市税比較

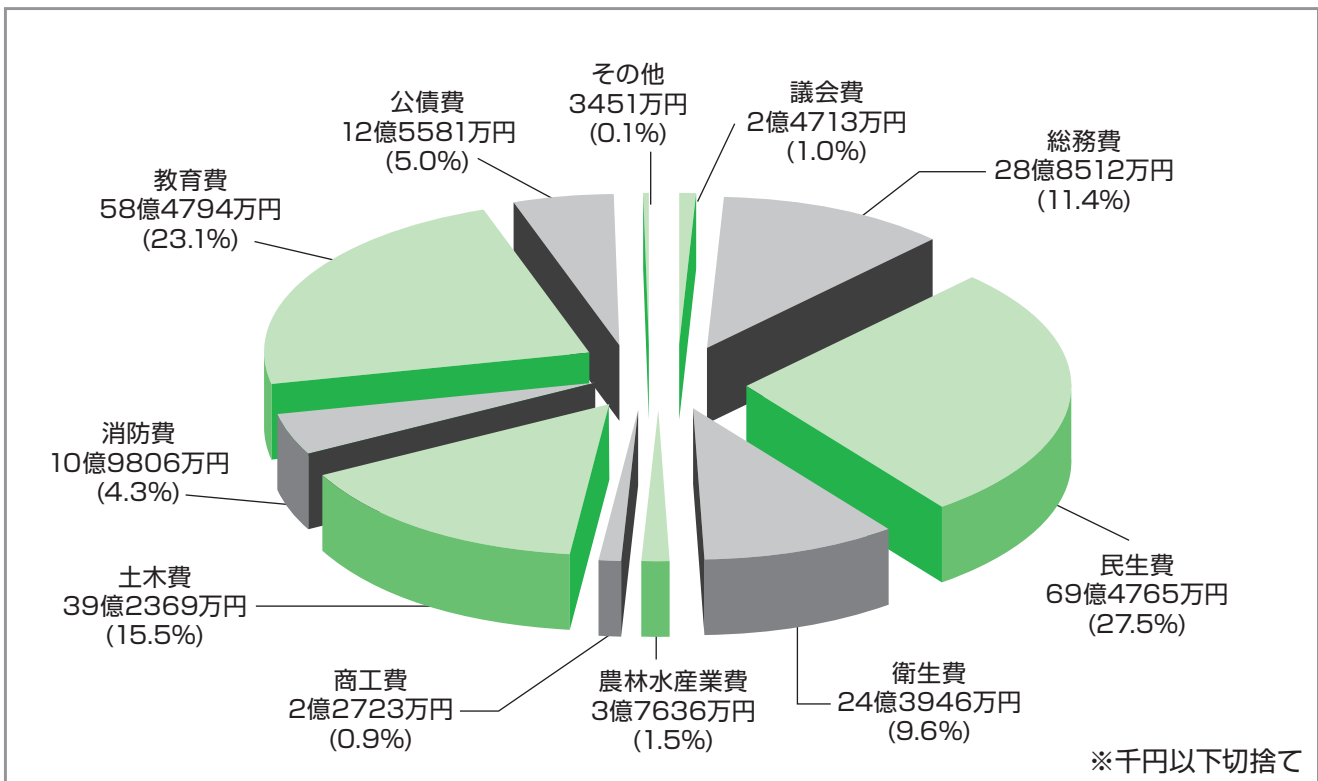


- ◇個人市民税は45億1100万円で、26年度と比べ2億500万円の増額です。
- ◇法人市民税は29億3020万円で、26年度と比べ16億7000万円の増額です。

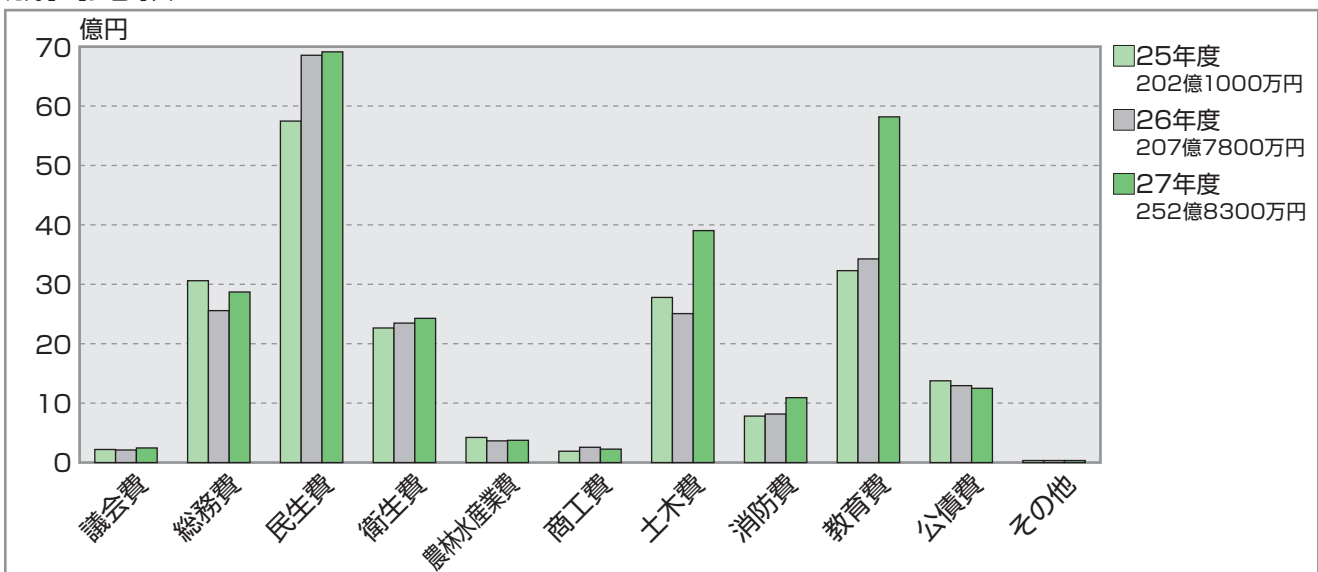


27年度 一般会計は

歳 出 (内訳及び構成比)



歳出比較



◇ 27年度一般会計予算は26年度に比べ45億500万円(21.7%)の増額です。
国民健康保険特別会計への繰出金、交通安全対策費、河川改修費、都市計画街路及び公園整備費、複合施設建設事業費、中学校空調機設置工事費などが増額要因です。

27年度事業あれこれ

◆ 燃料電池自動車購入

- 燃料電池自動車購入費

850万円

二酸化炭素を排出しない環境にやさしい車<ミライ>。

発注はしていますが、いつ入手できるか未定です。



◆ 防災行政無線デジタル化

- 防災行政無線デジタル化整備工事費
(同報系・移動系)

2億4500万円

- 防災行政無線デジタル化整備工事
監理業務委託費

642万6千円

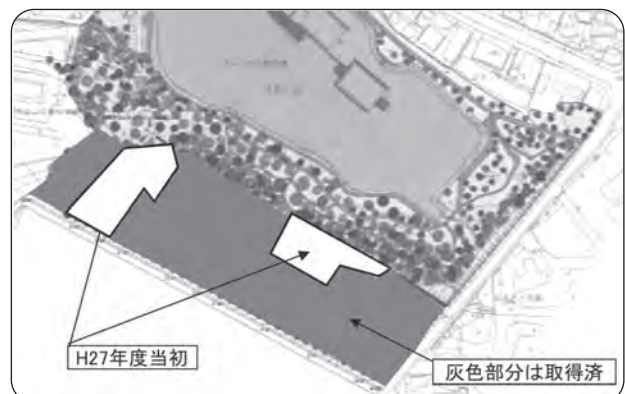
◆ 保田ヶ池公園設計委託

- 保田ヶ池公園設計委託費

1100万円

- 保田ヶ池公園用地取得費

1億2457万9千円



◆ (仮)図書館交流プラザ建設

- 建設工事費

17億1760万2千円

- 図書購入費

4000万円

新図書館12000点分含む



◆ 集会所AED設置

- 集会所14箇所AED設置費
551万9千円

多くの人が安心して利用できるように、各集会所で講習会を開いていきます。



◆ 中学校空調機設置

- 三好中学校普通教室 6606万円
- 北中学校普通教室 7350万円
- 南中学校普通教室 4355万円
- 三好丘中学校普通教室 8280万円

◆ 防犯推進事業

- 深夜防犯パトロール委託費
629万9千円
- 防犯灯設置工事費
469万3千円
- 防犯カメラ設置補助金
260万円



◆ プール解放事業

- 学校プール一般開放事業費
1345万5千円
- 3校→6校
新規：三吉小、北部小、黒笹小
継続：中部小、南部小、緑丘小



平成27年第1回定例会(3月議会)報告

3月議会は3月3日(火)～19日(木)の17日間の会期で開催。条例の制定・一部改正、26年度一般会計・特別会計補正予算、27年度一般会計・特別会計予算など46件、同意3件が審議されました。主なものについてお知らせします。(千円未満切捨て)

条例の制定・改正

○男女共同参画推進条例

○地区拠点施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例

○いじめ問題対策委員会及びいじめ問題調査委員会条例

○市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

26年度補正予算

26年度一般会計補正予算

27年度予算

27年度一般会計予算

●商工会補助事業費(みよしプレミアム商品券発行。6月実施)
3914万円

●小、中学校建設基金
8億円

◎民生費

●子ども医療費支給事業費
4億2783万円

●障がい者医療費支給事業費
1億6107万円

●財政調整基金
20億3130万円

◎総務費

●公共施設維持管理基金
10億円

●公共交通推進事業費
1億1502万円

●医療給付費負担金事務費
2億8335万円

●地区拠点施設整備基金
1億円

●庁舎維持管理事業費
1億8657万円

●放課後児童健全育成事業費
1億6761万円

●中心拠点市街地における都市施設整備基金
3億円

●臨時職員雇用事務費
2億1601万円

●児童扶養手当事務費
1億5885万円

●下水道施設整備基金
1億5千万円

●行政区活動事業費
1億8484万円

●道路修繕事業費
3億277万円

●保育園運営事業費
8億4328万円

●道路安全施設設置事業費
1億1406万円

●児童手当支給事務費
12億8037万円

●準用河川改修事業費
2億4581万円

●生活保護扶助事業費
2億5901万円

●都市計画道路整備事業費
6億3545万円

◎衛生費

●市民病院負担金事業費
5億1900万円

●都市公園整備事業費
5億2253万円

●健康診断事業費
1億498万円

●公園維持管理事業費
2億914万円

●予防接種事業費
2億4614万円

◎教育費

●家庭こみ計画収集事業費
5億3105万円

●小学校管理事業費
1億7542万円

◎土木費

●道路修繕事業費
3億277万円

●中学校管理事業費
3億6164万円

●小学校施設整備事業費
3億9880万円

●幼稚園授業料等補助事業費
1億5022万円

27年度やすらぎ霊園特別会計予算
総額1億8902万円

●サンアート維持管理事業費
4億3617万円

27年度後期高齢者医療特別会計予算
総額4億4288万円

●体育施設管理運営事業費
1億3856万円

27年度病院事業会計予算
総額40億4669万円

27年度国民健康保険特別会計予算
総額53億8469万円

27年度下水道事業特別会計予算
総額16億746万円

27年度農業集落排水事業特別会計予算
総額3億7784万円

27年度介護保険特別会計予算
総額19億1650万円

27年度やすらぎ霊園特別会計予算
総額1億8902万円

27年度後期高齢者医療特別会計予算
総額4億4288万円

27年度病院事業会計予算
総額40億4669万円

同意

○副市長小野田恵一氏の任期満了に伴い、新たに鈴木淳氏を選任することに同意しました。

○監査委員倉本繁八氏の任期満了に伴い、新たに小嶋正道氏を選任することに同意しました。

○固定資産評価員小野田恵一氏の辞任に伴い、新たに鈴木淳氏を選任することに同意しました。

常任委員会報告Q&A

各委員会の付託案件の主な審査内容をお知らせします。

総務協働委員会

みよし市地区拠点施設整備基金の設置・管理に関する条例

Q をしています。

A 協議会の構成メンバーは。

A 附属機関とし、学識経験者、区長代表、利用者代表、NPO公募2人の計11人になります。

平成27年度みよし市一般会計予算

Q 昨年11月に策定した拠点施設整備構想による整備会議を立ち上げるのか。

A 基金と合わせて、協議会を立ち上げていきます。今回、景気回復傾向にあり、将来を見据え中期構想を見直すものです。

Q 地区拠点施設の機能と役割は。

A 3地区の均衡を目的とし、ホール、児童館、老人憩いの家等の複合的な施設となるよう位置付

Q AED設置場所の管理者を講習会に参加させる必要は。

A 施設管理者には、受講義務があることを通知してあります。

Q 防災無線デジタル化整備事業での防災ラジオ導入プランは。

A 防災ラジオは27年にデジタル化し、28年に防災ラジオの補助制度を行います。ラジオはFMを使用します。

Q 28年予定の防災ラジオの補助内容は。

A 購入費の2分の1補助を考えています。

市議会議員の報酬に関する条例の改正

Q 審議経過は。

A 報酬審議会の答申に従い、同程度の人口規模の他市に近づく額となります。



◎防災無線室の状況



◎安全のみどり線（通学路）

文教厚生委員会

したものを再調査する機会です。

いじめ問題対策委員会及

びいじめ問題調査委員会

条例

Q 教育委員会の附属機関としての位置づけは。

A いじめ問題対策委員会は、いじめ対策が効果的に行われているかを評価したり、重篤な例ではその実態を調査する機関。

また、いじめ問題調査委員会は対策委員会で調査

26年度一般会計補正予算

Q 安全のみどり線の持つ意味はいはどのようなか。

A 集合場所から学校までの通学路で、ドライバーや市民にそれを知らせるものです。

27年度一般会計予算

Q 子育て世帯臨時特例給付金の申請及び周知方

法は。

A 平成27年6月分の児童手当受給者が対象で、同月からの資格確認をするため5月末に現況届を発送し、それに合わせて子育て世帯臨時特例給付申請書を同封の予定です。周知方法はホームページ、広報等でお知らせの予定です。

27年度特別会計予算

Q 介護保険において、過去の繰入金の推移は。

A 23年度2億4948万149円、24年度2億6487万931円、25年度2億6509万3477円です。

27年度病院事業会計予算

Q 医師・看護師の現況は。

A 内科・外科・耳鼻咽喉科の医師各1人ずつが不足し、次期採用は未決

定です。また、看護師8人も不足しており、臨時職員で対応の予定です。

経済建設委員会

27年度一般会計予算

Q 燃料電池自動車購入を環境衛生費で計上した理由は。

A 地場産業の発展はもとより、CO₂を排出しない環境にやさしい車として予算計上しました。公用車ですので今後の管理につきましては、車両管理者である総務課と検討してまいります。

Q 委員会の行政調査報告会で2枚の田を1枚にして合理化を図ることが望ましいと報告した。農業経営基盤強化事業費の農地集積推進事業費補助金2060千円の考えは。

A 農地集積推進事業は国が26年度から推進して

いる事業であり、農地中間管理事業は、集積及び集約を目的としています。

農地中間管理機構が農地を借り上げて、貸付ルールに基づき受け手に貸し付けるもので、基盤整備をすることも可能と聞いています。

Q 緑と花のセンター管理運営事業の県有農地取得費で取得後の利活用は。

A 緑と花のセンターの葉牡丹の育苗施設として使用しており、今後も今まで同様に農地として使用していきます。

Q みよしの景観100選作成業務の内容及び選び方は。

A 本年度、来年度の2か年で考えており、みよし市が景観団体になった時に景観計画を作成し、景観について市民の皆さんに関心を持っていただく事を目的に、景観100選を行うと位置づけています。景観資源には道、街並み景観、樹木、建物などがあり、写真等の募集を考え、市民から公募を募り、審査、決定していきます。



◎蜂ヶ池公園のしだれ桜



一般質問

○ 市政を問う ○

第1回定例会（3月議会）に13人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

青木敏郎（新世紀の会）

平成27年度予算と事業の概要

問 過去最高額の大型予算編成であるが、その主な要因は何か。27年度末における基金（貯金）残高、市債（借金）と債務負担行為（翌年度以降の借金）の合計額は。

答 大型予算となった主な要因の事業としては、（仮称）図書館学習交流プラザ建設、中学校普通教室空調機設置、サンアール大規模改修、防災行政無線デジタル化等々の諸事業で、総額約45億円の増額予算となりました。27年度末の基金残高は、約128億円の見通し、また、27年度末の市債残高は約164億円、債務負担との合計額は約184億円の見込みです。

問 国の地方創生交付金



◎販売3回目となるプレミアム商品券（6月6日発売）

防災・減災対策の推進

を強く商工会に伝えます。

問 堤防下一帯に多くの住宅が立地する、保田ヶ池の耐震調査と調査結果を踏まえた補強工事は。

答 ボーリング調査、土質試験を実施した結果、震度5強程度の想定で堤防には耐震性がなく、液化化する土質の存在も判明しました。現在、県との協議で27年度は工事の実施設計、28年度から補強工事に着手の計画です。

塚本隆敏（みよし未来の会）

平成27年度予算

問 今後の税収見込額は。

答 27年度の市税総額は、147億9千万円を見込んでおり、今後の市税総額は、28年度139億円、29年度136億円と見込んでいます。

問 税収減少の原因は。

答 主な税目は法人市民税で、市税での法人市民税率及び国税の法人税率の引き下によるものです。

問 将来の税収構成は。

答 個人市民税は27年度45億円、28、29年度は46億円と見込んでいます。法人市民税は27年度29億円、28年度19億円、29年度は16億円、固定資産税は27年度61億円、28、29年度は62億円、都市計画税は27、28、29年度とも8億円と見込んでいます。

問 国民健康保険特別会

計、介護保険特別会計、後期高齢者特別会計への繰出金の推移は。

答 27年度10億3千万円、28年度10億7千万円、29年度11億2千万円で、今後3年間で、8.5%増額となる見込みです。

市民病院の医師、看護師不足

問 医師、看護師の現状は。

答 内科医7人、整形外科医2人、外科医、小児科医、皮膚科医、眼科医がそれぞれ1人で計13人で、内科医、外科医、耳鼻咽喉科医が1人ずつ不足しています。看護師は57人で5、6人の不足です。

問 院内保育所を設置する考えは。

答 院内保育所の設置については、費用負担、適地選定を含め早急に検討してまいります。



◎みよし市民病院

第1回定例会（3月議会）に13人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

高木和彦（市民フォーラム）

命を助けるAED

問 AEDの日常点検は。

答 各施設管理者にて週に一度は点検を行っております。AED自体が毎日セルフテストを行い、異常があればインジケータで表示されます。また、バッテリー低下時などは警告音で知らせてくれますので、点検方法は、正常起動を確認できるインジケータとパッドなどの内容物の確認を行います。

問 AED設置箇所の更新ができる。ホームページへの掲載は。

答 現在、ホームページへの掲載はありませんが、ホームページに掲載している「防災マップ」にはAED設置箇所が示されています。今後、設置箇所を掲載したページを作

成します。

問 AED設置箇所への看板設置と配置図を表示する考えは。

答 設置表示は施設により表示の有無があります。今後、すべての施設に表示を行います。また、AED設置場所の配置図は表示方法なども含め検討します。

問 施設休館日のAED

の取出しは。

答 AEDは、各施設の屋内に設置しており、休館日は使用する事ができません。今後、各施設管理者が状況を勘案し設置場所の検討をします。

問 24時間営業であるコンビニへのAED設置の考えは。

答 コンビニ設置は、尾張旭市や長久手市が実施しています。今後、設置効果、近隣市町の動向を確認し、検討します。



◎コンビニにAEDを

青木直人（公明党）

地方創生の取り組み

問 「まち・ひと・しごと創生法」が昨年11月に成立した。地方版総合戦略は、自治体が自主性・主体性を発揮し、実情に沿った地域性のあるものが重要と考える。位置づけ、対象期間、盛り込まれる政策分野はどのようなか。

答 本市では、人口動向や産業実態を踏まえ、平成27年度から31年度までの5か年間の政策目標等を策定します。政策は①しごとづくり②ひとの流れ③結婚・出産・子育て④まちづくりの各分野から盛り込みます。

子どもを取り巻く環境

問 三好中学校区において「魅力ある学校づくり調査研究事業」が進められている。事業の状況、

成果はどのようなか。

答 26年度、27年度文部科学省の指定を受け、不登校の未然防止に向け、小学校と中学校、あるいは、小学校相互の連携を通して、自分の思いを生きて表現できる場、仲間と支えあい高めあえる場を学校生活の中につけていくことをめざし進めています。アンケートの結果、実感している児童生徒が増えています。

問 インターネットの普



◎安心安全な利用に向けた啓発・講座

その他の質問
・いじめ防止の取り組み

及による情報化は、子どもたちの生活や心身の問題に大きな影響を及ぼしている。本市の小中学生のインターネットリテラシー・情報マナー向上の取組みは。

答 豊田警察署の講師によるサイバー犯罪防止講話の開催、また、授業の中で情報機器の適切な使い方の方の指導を通し、情報モラルの向上を図っています。

水野 隆 市（新世紀の会）

新教育基本計画の策定

問 基本理念とそれを選定した理由は。

答 策定委員会から「学ぶ楽しさで、人と人をつなぐ」が提案されました。選定した理由は二つあり、一つは社会情勢を鑑み、学校関係者や市民の声に耳を傾けた時、今後重要になるのは「人と人とのつながり」であるとしたからです。もう一つは、これからの教育には、学びの持つ「本質的な楽しさ」が欠かせないと考えたからです。

問 ヒアリングでの意見や課題・要望をどのように計画に盛り込むのか。

答 計画の根幹である基本理念や目指す人間像などの事務局案に反映させ、また、直面する課題の解

決や教育の今日的課題に対応していきます。

スポーツ推進計画の策定

問 2020東京オリンピックを契機としたスポーツ振興の取り組みは。

答 現基本計画では「行うスポーツ」「観るスポーツ」「支えるスポーツ」の振興を図るとともに、気軽に楽しめる「スポーツ

施設の整備」を掲げています。その中で「支えるスポーツ」では東京オリンピックでのボランティアを考える市民に対し、支援を検討していきたいと考えています。また、「スポーツ施設の整備」では、三好池力ヌー競技場を東京オリンピックの事前の練習会場として応募し、市民、小中学生や力ヌー協会の選手たちにオリンピック選手に技術を学ぶ機会を与える機会をと考えています。



◎三好池力ヌー

加藤 芳文（清風クラブ）

不動産鑑定評価書

問 12月議会で福田町の雨水ポンプ場用地の取得単価が、打越町の旧農林公社が保有した農地の幹旋単価に比べ4倍も高いことを指摘した。その後不動産鑑定評価書を取り寄せたところ、

「水害の危険性、特になし」といった目を疑う記述があった。24年8月の豪雨でも道路や田畑が冠水し、民家の床上・床下浸水が起きており、水害の常襲地域である。市はなぜこのような鑑定評価書を受け付けたのか。

答 鑑定士に確認したところ、河川管理区域内の遊水池の指定がないため、水害の危険性は特になしと判断した、と聞く。国家資格を持つ鑑定士の記述であ

り、市は妥当と判断する。

愛大跡地開発と近隣市町

問 市は昨年、愛大跡地の住宅開発について、日進市と東郷町に説明を行っている。そこで両市町の考えを調べたところ、

ゴミ焼却施設の増改築の際に問題が起きることを強く懸念していた。実際、施設は「建築基準法

第51条の但し書き」に基づき建築されており、既存集落から100m以上離れていることが条件となる。開発計画で尾三衛生組合敷地から100m以内の宅地はあるか。あるとすると、両市町の合意を得るのは困難では。

答 100m以内に宅地が50区画程度あります。現段階では、施設の建替え時の対策の合意は得ていません。なお、愛大跡地は住居系開発と工業系開発のどちらも可能です。



◎位置図

第1回定例会（3月議会）に13人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

伊藤 邦洋
（新世紀の会）

市民病院経営について

問 新事業管理者の経営方針について。

答 市長の重要施策の一つが福祉・医療・介護支援の充実した「まち」づくりです。前事業管理者が定めた市民病院の理念「みよし市を愛し、みよし市民の健康に寄与することを誓います」を継承し、病院事業管理者として全力を尽くします。効率的な医療と介護の提供体制と地域に密着した医療と疾病予防等、市の政策医療の実践です。地域に密着した医療としては、入院病床は療養病床に加え、一般病床の一部を地域包括ケア病床に転換することにより、市民が安心して、医療が受けられる体制強化と、リハビリテーション



ン部門を充実させます。高度医療を行う病院からの受け入れと、診療所、医院との連携が円滑に進むようにします。更に医療と介護を一体として運営するために、市の地域包括支援センター、訪問看護ステーションと在宅介護支援センターを活用して在宅での療養を支援します。

問 大型医療機器を計画的に更新しているか、その主なものは何か。



◎更新予定の大型医療機器

答 平成22年度に64列のCTを更新し、冠動脈、脳動脈などの立体画像で最新処理が出来ます。また24年度に血管撮影装置を更新し、心臓カテーテルの検査や治療を行っています。また26年度は1.5テスラ超伝導MRIを更新し、より高品質の画像が短時間で撮影でき、患者さんの負担軽減に役立っています。27年度は胃透視で使用するX線テレビ装置の更新と電子カルテ等を更新し医療の質と、医療安全の向上に努めてまいります。

日置 孝彦
（翔誠クラブ）

防災訓練の見直し

問 実際に役立つ避難訓練を。

答 本市では、大規模な地震に備えて、毎年防災訓練を実施しています。平成26年に防災訓練マニュアルを作成し各自主防災会に配布、指導しているところです。

問 災害弱者支援計画は。

答 災害発生時には、各自主防災会で区民の安否を確認していただくことになります。

問 避難所の広報方法は。

答 災害基本法の改正により、災害時における緊急避難場所と、一定期間滞在し、避難者の生活環境を確保するための避難所が明確に区別されました。26年度は、避難場所、避難所の指定見直しを行いました。



◎防災訓練の様子

問 最初に必要となる水の確保の対策は。

答 市内3中学校に配備されている飲料水兼用型耐震性水槽の1箇所100t、合計300tの水が確保されています。

問 給水車で市内一円の家庭に必要な水配布対策は。

答 愛知中部水道企業団所有の給水車、給水タンクによる給水を計画しています。

問 災害時における個人のプライバシー保護はどのようなか。

答 世帯単位の避難者を保護するため、ふすま型、フェンス型、テント型の間仕切り等を備蓄しています。



一般質問

○ 市政を問う ○

第1回定例会（3月議会）に13人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

塚本克彦（新世紀の会）

中心市街地のまちづくり

問 アイモール隣地の区画整理事業の計画は。

答 平成27年度から砂後川右岸から調整池や排水路の造成工事に着手し30年度の事業完了の計画です。また仮換地指定後に組合と用途指定変更の協議に入ります。

問 平池天王台線の整備予定は。

答 30年度までに土地区画整理事業内の工事を行い、以後整備を行う予定です。

総合計画の見直し

問 27年度からの後期基本計画の改正点は。

答 計画の基となる人口、世帯は推計値である人口6万5千人、2万5200世帯に達しておらず、30年では人口6万2千人、世帯数2万3300世帯



◎アイモール隣地の区画整理事業

藤川仁司（新世紀の会）

高齢者の労働意欲と活用について

問 シルバー人材事業において、高齢化や景気動向による変化はどのようか。

答 民間企業の定年延長や継続雇用が普及しセンターへの入会希望者は減少傾向にあり、60歳代後半から70歳代の方の入会が目立ちます。

問 ワンコイン事業の現状は。

答 1回30分程度で行える「ちよっとしたお手伝い程度」を500円で行うサービスで、平成26年4月から27年1月まで38件の利用がありました。

問 ワンコインサービスは、高齢者の生活支援の観点から始まった事業で、行政区など、地区施設に窓口を置くような積極的な啓発による事業発展が

求められるが。

答 市広報やシルバーだよりへの掲載、新聞への折り込み、各公共施設や関係団体へのちらし配布などで事業のアピールに努めています。行政区に窓口を置くことは考えていません。

問 一般企業への働きか

けを含め、事業の拡大会員の増大に向けた考え方と方策は。

答 魅力あるセンター作りのため入会希望者に対し各種研修会、講習会などを開催し個々の持つ技能や能力の向上をサポートするとともに、地域が要望する様々なニーズに応えられる会員育成と組織構成構築に努めます。



◎シルバー人材

岡本守直（みよし未来の会）

人口減少社会への対応

問 人口減少社会の到来に対して、年少人口、生産年齢人口への長期ビジョンはどのようなのですか。

答 児童育成計画を策定し、社会情勢の変化によって多様化するニーズに柔軟に対応して「子育てしやすいまち」「みよしで産み育てたい」と考えることが必要と考えます。



◎子育てしやすいまちに

妊娠時から同じ保健師が継続し電話、訪問、相談を行います。出産後は保健師・助産師が訪問し、助言、支援を行います。

産業の振興は、「みよしに住んでよかった」「住みたい」と思えるような施策を進めます。新たな工業団地の計画はありません。

空き工場の情報提供に努めます。

問 高齢者人口の増加に対する施策はどのようなのですか。

答 高齢者福祉計画に基づき介護保険サービスの充実、安心して生きがいを持って健康で暮らせる地域づくりに努めます。10年後20年後を見据えた長期構想による健康寿命の延伸、介護予防など健康づくり、医療・介護による充実した支援を提供しています。ロコモティブシンドロームの認知度を高め運動習慣の継続的な取組の支援をしています。認知症対策としては、認知症地域支援推進員を配置し、介護予防事業とともに認知症の予防と早期発見に取り組んでいます。認知症カフェでは認知機能低下の抑制を目指しています。29年には認知症初期集中支援チームの設置を予定しています。

水谷正邦（青雲クラブ）

三好ヶ丘駅周辺魅力づくり計画

問 三好ヶ丘駅周辺魅力づくり計画の進捗状況は。

答 今回の駅周辺魅力づくり会議には、駅周辺の現状と課題に基づき、周辺土地の活性化策や駅前広場、街路などの都市施設の補完整備計画案を短期的、中長期的な視点に立って作成した原案を示して意見をいただく予定で、来年度は、実現可能なものを実施計画にしていきます。

問 平成27年度に基本構想を策定することだが、市長の言う人々が交流する魅力的な拠点とは。

答 カリヨンハウスは、駅周辺における人々が交流する拠点となるよう24年に取得したもので、拠点施設として計画づく

りを進めます。

カリヨンハウス

問 多目的室の一室を学習室として開放してはどうか。

答 サンネット図書コーナーの閲覧スペースが、収容人数を超えるような場合の多目的室の活用については、条例との整合性を図り、教育委員会とも協議して検討します。

問 地域活動コラボエリ

アを、東海学園大学に対し、もっと活用するように助言してはどうか。

答 今後は、施設の利用拡大を図る為に、市民活動団体等も利用できるようにするなど検討します。

問 ビジターセンターの全部、あるいは一部を公募型プロポーザルにして、民間活力を活用してはどうか。

答 今後も、みよし商工会に管理運営をお願いしていく予定ですので、公募型プロポーザルは今のところ考えていません。



◎カリヨンハウス



一般質問

○ 市政を問う ○

第1回定例会（3月議会）に13人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

水谷 邦恵（ゆうの会）

広域避難場所 サンアート

問 広域避難場所として安全確認を行っているか。

答 平成5年の建築で、新耐震基準を備えたもので、安全な建築物と認識しています。

問 サンアートの天井は吊り天井となっているが、点検を行っているか。

答 指定管理者が毎日点検を行い、月に一度報告を受けていますが、大規模改修計画策定業務の中で、建築士の点検により、天井面と壁のクリアランス（すき間）や、筋交いが設置されていないことが判明し、対策が必要と考えています。

山伏集会所の耐震改修

問 今回集会所の耐震改修予算1630万円が計



◎サンアートロビー

上された。集会所の面積は昭和50年に建築された約71㎡と、平成10年増築の遊戯室約39㎡を合わせた約110㎡である。

今回の予算での工事内容及び面積は。また、現在の面積との比較については。

答 現在のブロック造り部分71㎡を解体し、プレハブ工法による3棟のユニットで、面積は遊戯室を含み約80㎡となり、27%（約30㎡）狭くなり

ます。

問 集会所には児童厚生員が配置され、子ども達の居場所でもある。遊戯室は約39㎡から約29㎡（約9帖）になり、そこに遊具や図書の配置となる。集居室は約71㎡から約51㎡（約15帖）になり、その中にトイレや給湯室も含まれる。児童・区民への配慮に欠けた予算と言える。単価を下げて面積を広げることはできないか。

答 今回の予算ではこれ以上のものではありません。

市内3地区で行政調査報告会を実施

みよし市議会は、総務協働、文教厚生、経済建設の3常任委員会があり、それぞれが年間の研究テーマを決め、先進的な施策を実施している市町へ行政調査に出かけています。

その調査報告を、一般市民の皆様を対象に、今年度は市内3地区（三好丘交流センター、市役所、明越会館）で行いました。

これはより開かれた議会をめざすため、26年度から施行された議会基本条例により、市民との意見交換の場を設けることが義務付けられたことによるものです。

今後はこうした意見交換の場を通して、市民の皆様の声が議会を通して市政に反映されることを理想と考えています。



◎行政調査報告会の様子



地区防犯パトロール隊紹介

このコーナーでは、まちの安全を守ってくれる地区防犯パトロール隊の皆さんをご紹介します。

今回は、三好丘緑行政区のパトロール隊をご紹介します。

三好丘緑は930世帯2800人が暮らす町です。私達の防犯クラブは、平成15年当時の三好町での最初の防犯組織である三好丘コミュニティ自主防犯クラブの一員として参加、活動をしておりましたが、21年に各行政区単位に分離後は三好丘緑自主防犯クラブとして引き続き活動しています。会員数57人 青パト3台です。

私たちの活動のモットーは「無理せず、できることから 出来る人から」で犬の散歩、ウォーキング、園児、小学生の登下校送迎などライフスタイルに合わせた活動をしています。主な活動は次の通りです。

一 多くの人の目による監視と抑止効果のあるグッズ着用による防犯活動

●会員のライフスタイルに合わせた地域パトロール（義務付けはない）

●3台の青色パトカーによる地域パトロール（輪番制）一か月走行距離 約200キロ

二 犯罪抑止効果をねらった啓発



◎パトロール隊の皆さん

グッズ（防犯のほり、防犯プレート）の設置

三 不審者、不審車両、放置自転車、防犯灯の不具合の通報・処置の確認

四 防犯のための啓発活動

●（A四判「自主防犯だより」23年6月から毎月各戸配布）

26年の当行政区の犯罪被害件数は11件で人口1千人当たり3.8件でした。おかげさまで同年の三好丘6行政区の1千人当たり件数7.1件を下回ることができました。

今後、「安心」して暮らせる「安全」な緑区をめざして活動を続けてまいります。

次回定例会のご案内

平成27年度第2回定例会の予定は次のとおりです。

会 期 6月11日（木）～30日（火）

一般質問 6月15日（月）・16日（火）

議案質疑 6月19日（金）

【委員会】

総務協働委員会 6月22日（月）

文教厚生委員会 6月23日（火）

経済建設委員会 6月24日（水）

編集後記

本年度の議会広報紙の表紙では、グッドデザイン賞に輝くアートの街みよし市を飾る彫刻作品を紹介してまいりました。貴重な財産として大切に保存し、これからも市民の皆様に愛されることを切に願っています。今後も議会の情報発信の媒体として、皆様に親しまれる紙面づくりに努めてまいります。一年間ありがとうございました。

議会広報特別委員会

委員長 塚本隆敏

副委員長 水谷邦恵

委員 日置孝彦

伊藤邦洋

伊東修子
藤川仁司